

学校だより11月号



寺尾小だより

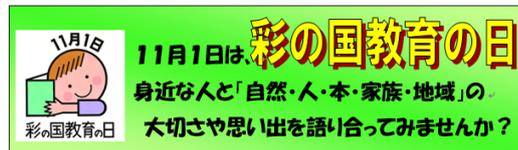


＜学校教育目標＞ 「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」
＜11月の生活目標＞ 「進んで体をきたえよう」

川越市立寺尾小学校
令和5年11月

＜彩の国教育週間＞

埼玉県では、教育に関する理解を深める機会として、毎年11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。教育の日を含む、教育週間には、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、教育に関する様々な取組を推進しています。本校では、11月2日に校内音楽会を実施します。入場制限がありますが、午後の公開では保護者・地域の皆様に御参会をいただきます。子供たちは、本番に向けて、練習を熱心に取り組んでいます。1から6年生までの学年らしい合唱や合奏を楽しみにしてください。「芸術の秋」の一コマをかざる時間になることと思います。



＜読書の秋＞

本校には、本をよく読んでいる子がいます。「小江戸読書マラソンカード」に、30冊読んだ本の記録をすると、認定書のシールを私が貼ることになっています。ほぼ毎日、何人かが、カードをもって校長室にやってきます。うれしそうに笑顔で校長室に入ってくる姿にこちらもうれしくなります。



子どもの本を読む様子を見ていると、図書室で仕方なし？本を見ていたり、朝読書でなんとなく本を見ていたりする子もいます。敢えて「見る」と書きましたが、文をちゃんと読まない子がいるのです。本より面白くて手っ取り早い楽しみがたくさんある今日です。ゲーム機器を操作するほうが簡単かもしれません。文字が小さい、意味が難しい、文が長いなどを乗り越える努力が必要です。乗り越えるためには、「本には面白いことが書いてある」ということがわかるようになることが大切であると言われています。低学年はお家の人の読み聞かせもよい機会となります。漫画もいいですが、心を豊かにし、色々なことを教えてくれる楽しい本に出会ってほしいです。一般に、読書好きな人は、語彙も豊富で複雑な物事も筋道立てて考える習慣がついており、一時的な感情に左右され、激情的な言動をしてしまうことは少ないと言われております。また、想像力が豊かになる、知識が増える、文章を書く能力が付く、ストレスが減るなどの効果があると言われております。読書の秋です。ぜひ、親子読書などチャレンジしてください。『良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである。』（ルネ・デカルト）

シラコバト賞

本校、スクールガードリーダーの石井辰男様が、この度、第55回シラコバト賞を受賞されました。長年、子どもたちの安全な登下校の見守りをいただいていることを評価していただきました。11月14日に行われる「県民の日記念式典」で表彰されます。おめでとうございます。

いじめ撲滅強化月間

埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強化月間」に制定し、いじめ問題の根絶に集中的に取り組んでいます。いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることもあり、いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。「いじめは絶対に許さない」という強い決意の下、学校や家庭、地域が一体となって社会全体でいじめ防止に取り組む必要があります。

いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら、悩まず相談してください。